

「大阪文化芸術支援プログラム 2021」の経済波及効果測定調査業務 仕様書

1 目的

大阪文化芸術創出事業実行委員会（以下「実行委員会」という）は、新型コロナウイルス感染症と共存しながら、文化芸術活動の回復に取り組むため、府内の劇場・ホールなどで文化芸術プログラムを実施し、大阪ゆかりのアーティスト・演芸人や劇団・楽団等の公演・活動の場を創出するとともに、府民に文化芸術に触れる機会を提供する「公演機会創出事業」を実施します。

また、文化を核として大阪の都市魅力を創造し、発信していく事業として、万博記念公園でのステージ公演、アート展示等のプログラムや、府内各地にある文化資源（神社仏閣等）を活用し、地域の魅力発信や身近で文化芸術に触れ楽しむことができるプログラムなどを展開する「大阪文化芸術フェス」を実施します。

今年度は、「公演機会創出事業」と「大阪文化芸術フェス」をあわせて一体的に「大阪文化芸術支援プログラム 2021」として取り組むこととしており、これらの経済波及効果を調査・分析・推計することにより、今年度の事業の評価と、今後より一層大きな経済波及効果の創出に資するものとします。

別紙：大阪文化芸術支援プログラム 2021 一覧

※プログラムは、今後、追加、変更する場合があります。

2 業務内容

「大阪文化芸術支援プログラム 2021」（主催、共催、参加プログラム）の経済波及効果の測定調査・分析

- (1) 直接効果の推計
- (2) 経済波及効果・税収の推計

※両推計とも、以下の3種類の値を報告すること。

- ・大阪文化芸術支援プログラム 2021（公演機会創出事業+大阪文化芸術フェス）の全てのプログラム分
- ・大阪文化芸術フェスのプログラム（主催、共催、参加）分
- ・大阪文化芸術フェスの一部のプログラム（主催、共催）分

3 実行委員会から提供するデータ及び提供時期（予定）

- ・大阪文化芸術支援プログラム 2021 来場者 1 人あたりの消費額等のアンケート結果
提供時期：令和 3 年 12 月下旬
- ・プログラム（主催、共催、参加）の来場者数及び各プログラムの開催事業費
提供時期：令和 4 年 1 月下旬

4 業務実施に当たっての留意事項

- ・経済波及効果は、大阪府産業連関表を用いて算出すること。
- ・経済波及効果の計算に必要な最終需要額は来場者による消費総額、及び各プログラムの開催事業費から算出すること。
- ・最終需要額のうち来場者による消費総額は、来場者数と 1 人あたりの消費額から求めること。
- ・1 人あたりの消費額は、実行委員会から提供するアンケート結果等資料から求めること。

- ・ 来場者による消費総額は、アンケートにより回答いただいた目的別／品目別での消費額を、また、各プログラムの開催事業費は、各事業の委託先会社の業種、支出項目などを参考に、それぞれ産業連関表の産業部門分類別に整理し、商業マージン、運輸マージンをそれぞれ商業部門、運輸部門に分割・整理した「生産者価格」ベースに換算すること。
- ・ 経済波及効果の試算結果をもとに、税収への影響を推計すること。なお、算出にあたっては実効税率により推計すること。

5 実施期間（予定）

自 委託契約締結日

至 令和4年2月28日（月）

6 提出書類等

(1) 提出書類並びに提出期日・部数

- ・ 報告書概要版 令和4年2月10日（木） 4部
- ・ 報告書 令和4年2月21日（月） 4部
- ・ 関連データ一式 4部（CD-ROMにて）

(2) 提出先

大阪文化芸術創出事業実行委員会 事務局

7 その他

本仕様書に記述のない事項や疑義の生じた事項については、実行委員会と協議の上、実施すること。